

特 集

外科医必携 緊急対応が必要な 大腸疾患

緊急対応を要する大腸疾患は、一般病院から専門病院に至るまで、日常診療でよく遭遇するメジャーな疾患である。一方で、その内容と対処法はまさに千差万別であり、治療法の判断に難渋するケースも決して少なくない。さらに、腹膜炎を呈する状態では重症化することも多く、全身管理の知識も重要となる。結腸/直腸、良性疾患/悪性疾患などで、治療方針を変える必要がある領域であるだけでなく、対応する外科医の経験や施設の環境に応じて、治療法を選択しなければならない。

本特集では、様々な環境にいる読者の一助となるよう、この領域のエキスパートより、それぞれの疾患に対して一つに絞るのではなく、できるだけ多くの対処法を解説いただいた。